

令和6年3月期 第2四半期 決算概要

～お客様と東和銀行のSDGs(持続可能な発展目標)の推進～



株式会社 東和銀行

令和6年3月期 第2四半期 決算概要

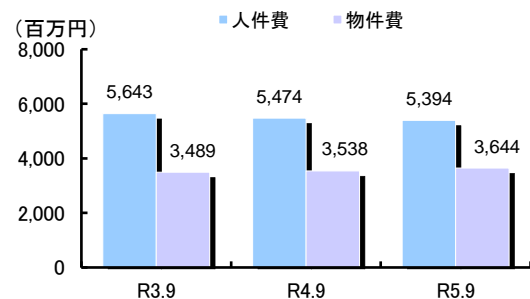
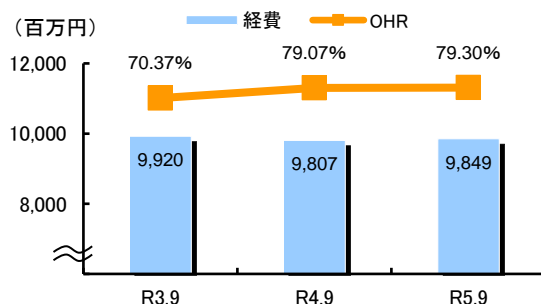
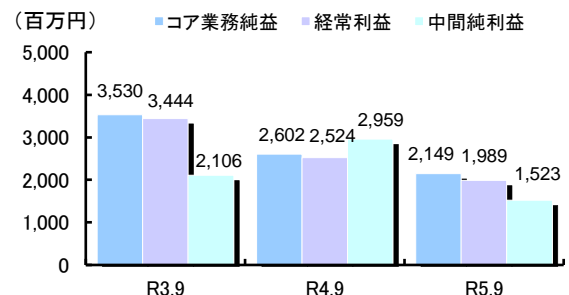
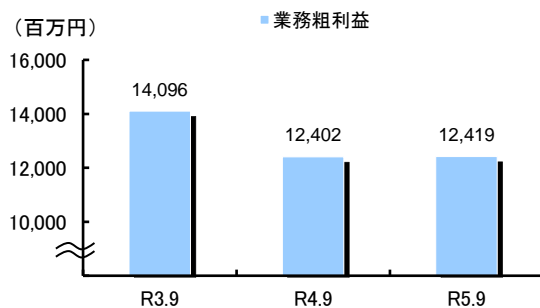
1. 損益の状況

令和6年3月期第2四半期における損益状況は、本業の収益力を示すコア業務純益が21億49百万円、経常利益は19億89百万円、中間純利益は15億23百万円となりました。

《単体》

(単位:百万円、%)

	R4年3月期 第2四半期	R5年3月期 第2四半期	R6年3月期	
			第2四半期	前年同期比
業務粗利益	14,096	12,402	12,419	+ 17
資金利益	11,771	11,222	10,794	▲ 428
役務取引等利益	1,202	1,152	1,183	+ 31
その他業務利益	1,122	27	441	+ 414
経費(除く臨時処理分)(▲)	9,920	9,807	9,849	+ 42
OHR(業務粗利益経费率)	70.37	79.07	79.30	+ 0.23
うち人件費(▲)	5,643	5,474	5,394	▲ 80
うち物件費(▲)	3,489	3,538	3,644	+ 105
コア業務純益	3,530	2,602	2,149	▲ 452
一般貸倒引当金繰入額(▲)	▲ 1,285	▲ 518	▲ 198	320
業務純益	5,461	3,114	2,769	▲ 344
臨時損益	▲ 2,016	▲ 589	▲ 779	▲ 190
うち不良債権処理額(▲)	4,363	1,395	1,611	+ 215
うち償却債権取立益	148	319	297	▲ 21
うち株式等関係損益	1,817	35	5	▲ 29
経常利益	3,444	2,524	1,989	▲ 534
特別損益	▲ 107	1,025	▲ 22	▲ 1,048
法人税等合計(▲)	1,230	591	444	▲ 146
中間純利益	2,106	2,959	1,523	▲ 1,436



2. 主要勘定の状況

(1) 貸出金

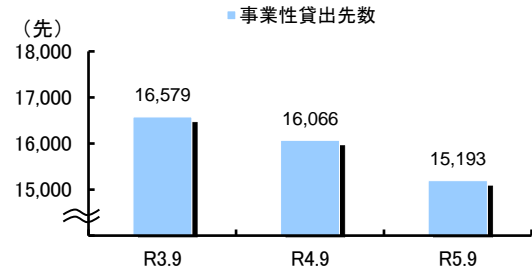
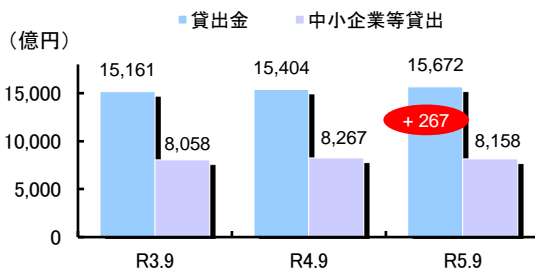
貸出金の期末残高は前年同期比267億円増加の1兆5,672億円となりました。一方で、中小企業貸出の期末残高は、コロナ後の資金需要の一服感があるなかで、いわゆるゼロゼロ融資の返済が進んだことなどから、前年同期比109億円減少の8,158億円となりました。

また、事業性貸出先数については、コロナ禍や原材料価格高騰の影響を受けるお客さまへの支援に注力したことや、コロナ禍で保守的に調達していた事業先の償還が進んだことから、前年同期比873先減少の15,193先となりました。

《単体》

(単位: 億円、先)

	R4年3月期 第2四半期	R5年3月期 第2四半期	R6年3月期 第2四半期	
			前年同期比	
貸出金(末残)	15,161	15,404	15,672	+ 267
うち中小企業等貸出金	8,058	8,267	8,158	▲ 109
事業性貸出先数	16,579	16,066	15,193	▲ 873



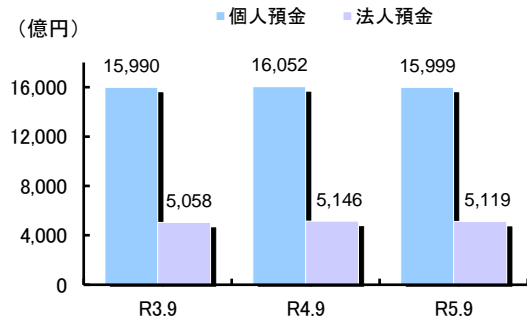
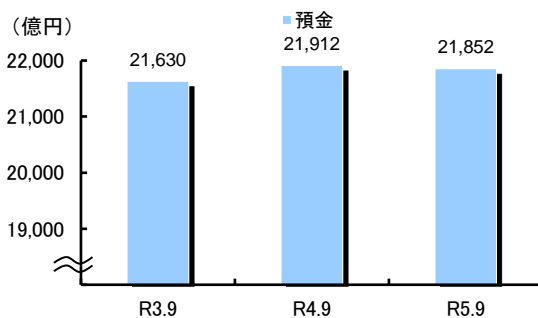
(2) 預金

預金は、前年同期比59億円減少の2兆1,852億円となりました。

《単体》

(単位: 億円)

	R4年3月期 第2四半期	R5年3月期 第2四半期	R6年3月期 第2四半期	
			前年同期比	
預金(末残)	21,630	21,912	21,852	▲ 59
うち個人	15,990	16,052	15,999	▲ 52
うち法人	5,058	5,146	5,119	▲ 26



(3) 預り資産

投資信託は長期的な資産形成支援に取り組んだことより販売額は128億円、純資産残高は760億円となりました。生命保険等の販売額は58億円、販売額累計は1,545億円となり、また、国債等公共債の販売額は3億円、残高は28億円となりました。

《単体》

(単位:億円)

		R4年3月期 第2四半期	R5年3月期 第2四半期	R6年3月期 第2四半期	前年同期比
販売額	投資信託	179	128	128	0
	生命保険等	55	85	58	▲ 27
	公共債	2	2	3	+ 1

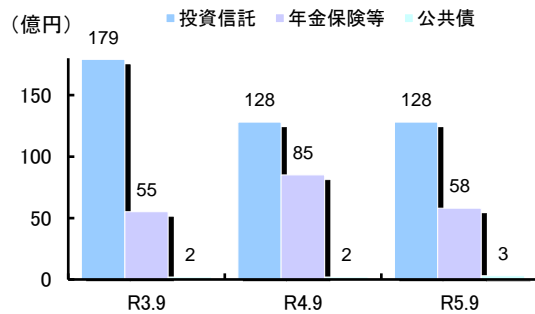
《単体》

(単位:億円)

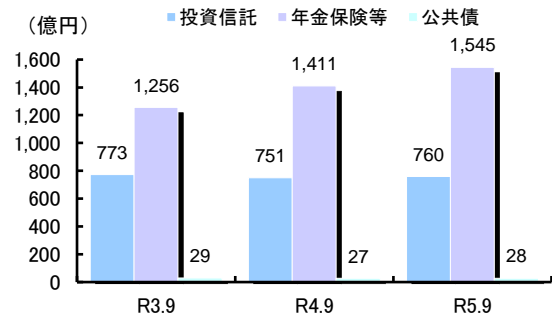
		R4年3月期 第2四半期	R5年3月期 第2四半期	R6年3月期 第2四半期	前年同期比
残高	投資信託	773	751	760	+ 8
	生命保険等(※)	1,256	1,411	1,545	+ 134
	公共債	29	27	28	0

(※) 生命保険等は販売の累計額

販売額



残高



(4) 有価証券

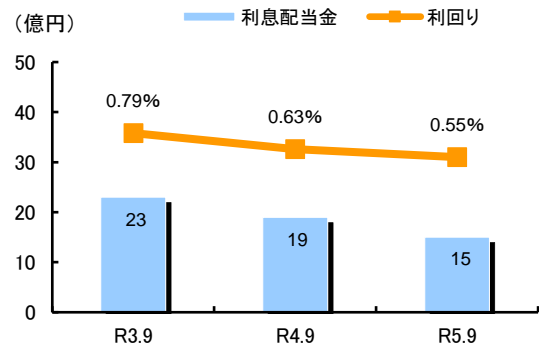
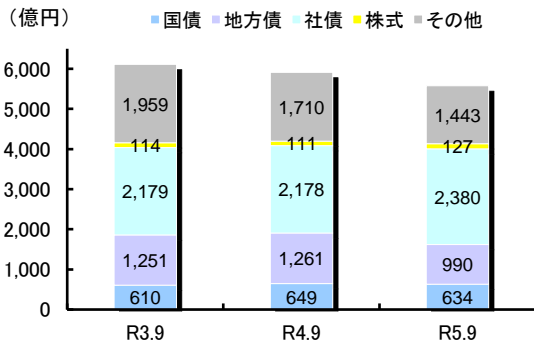
有価証券は、継続的な運用見直しを行った結果、期末残高は前年同期比335億円減少の5,575億円となりました。

《単位》 (単位:億円)

	R4年3月期 第2四半期	R5年3月期 第2四半期	R6年3月期 第2四半期	前年同期比
有価証券残高	6,115	5,910	5,575	▲ 335
国債	610	649	634	▲ 14
地方債	1,251	1,261	990	▲ 270
社債	2,179	2,178	2,380	+ 202
株式	114	111	127	+ 15
その他	1,959	1,710	1,443	▲ 266

《単位》 (単位:億円、%)

	R4年3月期 第2四半期	R5年3月期 第2四半期	R6年3月期 第2四半期	前年同期比
有価証券利息配当金	23	19	15	▲ 3
有価証券利回り	0.79	0.63	0.55	▲ 0.07



(5) 有価証券評価損益

有価証券評価損益は、内外金利の上昇を主な要因として、前年同期比86億円減少し、189億円の含み損となりました。

《単位》 (単位:億円、%)

	R4年3月期 第2四半期	R5年3月期 第2四半期	R6年3月期 第2四半期	前年同期比
満期保有目的	2	1	0	▲ 1
子会社・関連会社株式	-	-	-	-
その他有価証券	86	▲ 104	▲ 189	▲ 85
株式	24	18	34	15
債券	56	▲ 36	▲ 131	▲ 95
その他	6	▲ 86	▲ 92	▲ 5
合計	88	▲ 102	▲ 189	▲ 86

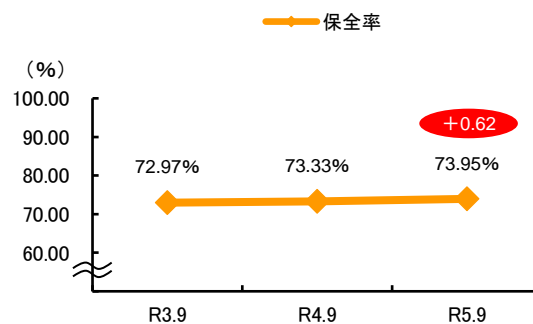
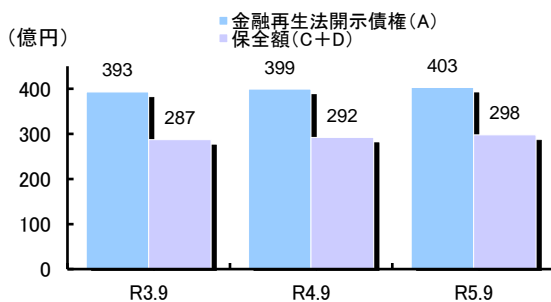
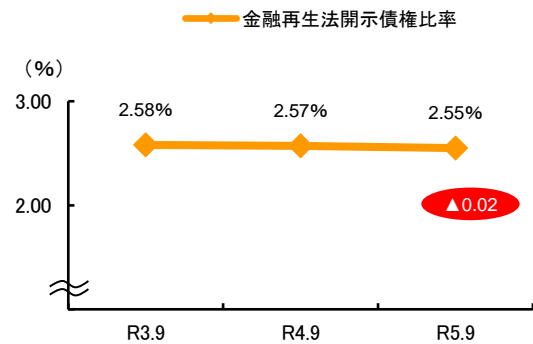
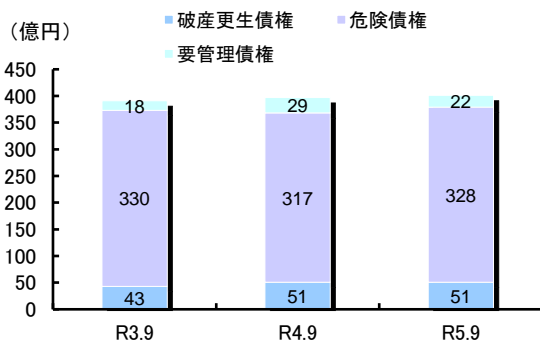
3. 不良債権の状況

金融再生法開示債権比率は、前年同期比0.02ポイント低下し、2.55%となりました。

《単体》

(単位:億円、%)

	R4年3月期 第2四半期	R5年3月期 第2四半期	R6年3月期 第2四半期	前年同期比
破産更生債権	43	51	51	0
危険債権	330	317	328	+ 10
要管理債権	18	29	22	▲ 6
小計(A)	393	399	403	+ 4
正常債権	14,830	15,102	15,387	+ 285
合計(B)	15,223	15,501	15,790	+ 289
金融再生法開示債権比率(A/B)	2.58	2.57	2.55	▲ 0.02
担保保証による保全額(C)	219	236	253	17
貸倒引当金(D)	67	56	44	▲ 12
保全率(C+D)/(A)	72.97	73.33	73.95	+ 0.62



4. 自己資本比率

自己資本比率は、10.24%（バーゼルⅢ国内基準）となりました。

《単体》 （単位：％）

	R4年3月期 第2四半期	R5年3月期 第2四半期	R6年3月期 第2四半期	前年同期比
自己資本比率	10.67	10.49	10.24	▲ 0.25

